

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成20年11月12日

【四半期会計期間】 第88期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

【会社名】 旭有機材工業株式会社

【英訳名】 ASAHI ORGANIC CHEMICALS INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐次洋一

【本店の所在の場所】 宮崎県延岡市中の瀬町二丁目5955番地

(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行なっております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区内神田二丁目15番9号

【電話番号】 東京 03(3256)2451

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 岡本忠久

【縦覧に供する場所】 旭有機材工業株式会社東京本社

(東京都千代田区内神田二丁目15番9号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第88期 第2四半期連結 累計期間	第88期 第2四半期連結 会計期間	第87期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(百万円)	19,117	9,996	40,025
経常利益	(百万円)	887	364	2,287
四半期純損失()又は 当期純利益	(百万円)	250	576	1,371
純資産額	(百万円)		44,083	44,972
総資産額	(百万円)		58,899	59,881
1株当たり純資産額	(円)		450.65	459.67
1株当たり四半期純損失 ()又は1株当たり当 期純利益	(円)	2.56	5.90	14.02
潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		74.8	75.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,235		3,474
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,438		2,916
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	482		1,014
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)		3,156	2,449
従業員数	(名)		1,145	1,088

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	1,145
---------	-------

(注) 従業員は就業人数であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	768
---------	-----

(注) 従業員は就業人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)
管材システム事業	4,139
樹脂事業	2,863
合計	7,002

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における管材システム事業の受注実績は、次のとおりであります。
 なお、管材システム事業の一部を除くその他の事業については、見込み生産を行っております。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
管材システム事業(一部)	235	764

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)
管材システム事業	6,738
樹脂事業	3,258
合計	9,996

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行なわれておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した国際金融の大混乱を契機として実体経済の減速が鮮明になりつつあり、輸出先の景気悪化や円高、資材高などの影響により設備投資意欲が鈍化し、個人消費は冷え込み、景気の先行きに一層不透明感が増してまいりました。

た。

このような環境のもとで当社グループは、設備の改善や工程短縮・省力化を図り、コスト削減に努め、また原材料価格の高騰に対応した製品価格の修正に取り組みましたが、原油価格の乱高下により製品値上げの浸透が遅れ、コストアップを吸収しきれませんでした。また、世界的な証券市場の大混乱により、特別損失に投資有価証券評価損を計上することとなりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は9,996百万円、営業利益は200百万円、経常利益は364百万円、四半期純損失は576百万円となりました。

事業部門別の状況は、次のとおりであります。

管材システム事業部門

主力製品である配管材料は、企業収益の圧迫による設備投資の先送りや原材料価格の高騰など、厳しい環境の中で売上高が伸びました。利益面におきましては、加工設備の増強、組立工程の省力化等でコストダウンを図ってきましたが、原材料価格の高騰に対応する売値転嫁が遅れました。

これらの結果、当事業部門の売上高は6,738百万円、営業利益は188百万円となりました。

樹脂事業部門

主力製品である鋳物用樹脂及びRCSは、主要仕向け先である自動車関連産業の国内生産が堅調に推移し、中国関係の販売が好調だったことで売上高が伸びました。利益面におきましては、主原料を中心とした原材料価格の相次ぐ高騰に販売価格の修正が追いつきませんでした。

これらの結果、当事業部門の売上高は3,258百万円、営業利益は12百万円となりました。

所在地別の業績は次のとおりであります。

日本

日本での売上高は9,266百万円、営業利益は122百万円となりました。

米国

米国での売上高は1,003百万円、営業利益は90百万円となりました。

中国

中国での売上高は76百万円、営業損失は3百万円となりました。

なお、売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は58,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ982百万円減少しました。これは設備投資に伴う有形固定資産の増加するなか、有価証券の償還や受取手形及び売掛金の回収などによる流動資産が減少したことによるものです。

負債は14,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少しました。これは当座借越による短期借入金の増加がありましたが、支払手形及び買掛金などの減少が上回ったことによるものです。

純資産は44,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円減少しました。これは四半期純損失や配当による株主資本の減少と為替換算調整勘定の減少などによる評価換算差額等の減少によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前四半期連結会計期間末より29百万円減少した3,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ707百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失ではありましたが、減価償却費や投資有価証券評価損などの非資金損益項目が上回っていることなどから、1,073百万円資金が増加し、当第2四半期連結累計期間では1,235百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う有形固定資産の取得と有価証券等の取得による支出が償還等による収入よりも上回ったことなどから、309百万円資金が減少し、当第2四半期連結累計期間では1,438百万円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当座借越による短期借入金の返済が多かったことなどから、802百万円資金が減少し、当第2四半期連結累計期間では482百万円の資金増加となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発活動の総額は364百万円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	199,000,000
計	199,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	99,002,000	99,002,000	東京証券取引所 (市場第一部)	
計	99,002,000	99,002,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成20年9月30日		99,002		5,000		8,479

(5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
旭化成株式会社	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地	29,196	29.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	2,470	2.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	2,256	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,941	2.0
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	1,797	1.8
全国共済農業協同組合連合会	東京都千代田区平河町二丁目7番9号	1,373	1.4
株式会社宮崎銀行	宮崎県宮崎市橘通東四丁目3番5号	1,347	1.4
シービーエヌワイ デイエフエイ 常任代理人 (シティバンク銀行株式会社 証券業務部)	1299 OCEAN AVENUE, 11F, SANTA MONICA, CA 90401 USA (東京都品川区東品川二丁目3番14号)	1,334	1.4
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号	1,224	1.2

旭有機材工業株式会社	宮崎県延岡市中の瀬町二丁目5955番地	1,199	1.2
計		44,140	44.6

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,199,000		
	(相互保有株式) 普通株式 205,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 97,013,000	97,013	
単元未満株式	普通株式 585,000		
発行済株式総数	99,002,000		
総株主の議決権		97,013	

(注) 1 証券保管振替機構名義等の失念株式はありません。

2 「単元未満株式数」には、相互保有株式〔旭エー・ブイ産業(株)保有1,682株〕及び自己株式469株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 旭有機材工業(株)	宮崎県延岡市中の瀬町 二丁目5955番地	1,199,000		1,199,000	1.2
(相互保有株式) 旭エー・ブイ産業(株)	東京都千代田区内神田 二丁目15番9号	168,000	37,000	205,000	0.2
計		1,367,000	37,000	1,404,000	1.4

(注) 旭エー・ブイ産業(株)は、当社の取引先会社で構成される持株会(旭有機材代理店持株会 東京都千代田区内神田二丁目15番9号)に加入しており、当持株会名義で当社株式を所有しております。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	292	306	333	343	326	319
最低(円)	270	284	301	308	297	268

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	2,449
受取手形及び売掛金	15,295	16,794
有価証券	152	1,274
たな卸資産	¹ 7,339	¹ 6,815
その他	1,301	1,026
貸倒引当金	61	79
流動資産合計	27,182	28,279
固定資産		
有形固定資産	² 15,218	² 14,108
無形固定資産	578	645
投資その他の資産		
投資有価証券	12,918	12,902
その他	3,082	4,015
貸倒引当金	79	67
投資その他の資産合計	15,921	16,850
固定資産合計	31,717	31,602
資産合計	58,899	59,881
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,305	9,064
短期借入金	1,027	27
その他	2,494	2,818
流動負債合計	11,825	11,908
固定負債		
長期借入金	155	195
退職給付引当金	1,389	1,369
役員退職慰労引当金	207	247
その他	1,241	1,190
固定負債合計	2,991	3,001
負債合計	14,816	14,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,480	8,480
利益剰余金	31,197	31,936
自己株式	544	541
株主資本合計	44,133	44,876
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	182	166
為替換算調整勘定	89	218
評価・換算差額等合計	93	51
少数株主持分	43	45
純資産合計	44,083	44,972
負債純資産合計	58,899	59,881

(2)【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	19,117
売上原価	13,477
売上総利益	5,640
販売費及び一般管理費	¹ 5,203
営業利益	437
営業外収益	
受取利息	98
受取配当金	268
持分法による投資利益	16
その他	98
営業外収益合計	480
営業外費用	
支払利息	16
為替差損	8
その他	7
営業外費用合計	30
経常利益	887
特別利益	
貸倒引当金戻入額	17
その他	6
特別利益合計	23
特別損失	
固定資産除売却損	11
投資有価証券評価損	1,312
その他	0
特別損失合計	1,323
税金等調整前四半期純損失()	413
法人税等	² 161
少数株主損失()	2
四半期純損失()	250

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年 7月 1日 至 平成20年 9月30日)	
売上高	9,996
売上原価	7,230
売上総利益	2,766
販売費及び一般管理費	1 2,566
営業利益	200
営業外収益	
受取利息	43
受取配当金	207
持分法による投資利益	8
その他	15
営業外収益合計	273
営業外費用	
支払利息	12
為替差損	59
その他	39
営業外費用合計	110
経常利益	364
特別利益	
貸倒引当金戻入額	6
その他	5
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産除売却損	2
投資有価証券評価損	1,312
特別損失合計	1,314
税金等調整前四半期純損失()	940
法人税等	2 361
少数株主損失()	3
四半期純損失()	576

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	413
減価償却費	883
受取利息及び受取配当金	366
投資有価証券評価損益(は益)	1,312
売上債権の増減額(は増加)	1,464
たな卸資産の増減額(は増加)	590
仕入債務の増減額(は減少)	732
その他	476
小計	1,082
利息及び配当金の受取額	429
利息の支払額	14
法人税等の支払額	262
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	1,690
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,506
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,260
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	1,002
長期借入金の返済による支出	26
配当金の支払額	489
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	482
現金及び現金同等物に係る換算差額	48
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	231
現金及び現金同等物の期首残高	2,449
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	476
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,156

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<p>1 連結の範囲に関する事項の変更</p> <p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間から、重要性が増した旭有機材樹脂(南通)有限公司を連結の範囲に含めておりません。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 10社</p> <p>2 会計処理の原則及び手続の変更</p> <p>リース取引に関する会計基準の適用 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。</p> <p>また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。</p> <p>なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。</p> <p>これによる損益への影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<p>1 一般債権の貸倒見積高の算定方法 前連結会計年度末に算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。</p> <p>2 棚卸資産の評価方法 棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。</p> <p>3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p> <p>4 未実現損益の消去 四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
<p>税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1 たな卸資産		1 たな卸資産	
商品及び製品	4,097百万円	商品及び製品	4,053百万円
仕掛品	1,755	仕掛品	1,306
原材料及び貯蔵品	1,487	原材料及び貯蔵品	1,457
2 有形固定資産の減価償却累計額	29,490百万円	2 有形固定資産の減価償却累計額	28,987百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
製品運送費	1,084百万円
給与・賞与	1,612
退職給付費用	52
役員退職慰労引当金繰入額	38
2 当四半期連結累計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。	

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
製品運送費	557百万円
給与・賞与	795
退職給付費用	28
役員退職慰労引当金繰入額	22
2 当四半期連結会計期間における税金費用については、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理により計算しているため、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	3,156百万円
現金及び現金同等物	3,156百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	99,002

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(千株)	1,275

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	489	5.00	平成20年3月31日	平成20年6月27日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成20年11月11日 取締役会	普通株式	利益剰余金	489	5.00	平成20年9月30日	平成20年12月8日

4 株主資本の著しい変動に関する事項

当第2四半期連結累計期間における剰余金の配当については、「3 配当に関する事項」に記載しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べ著しい変動が認められます。

1 満期保有目的の債券で時価のあるもの

区分	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
国債・地方債等			
社債			
その他	6,000	5,001	999
計	6,000	5,001	999

2 その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価 (百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額 (百万円)
株式	943	876	66
債券	2,553	1,211	1,342
その他	1,382	1,105	277

計	4,878	3,193	1,686
---	-------	-------	-------

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	管材システム 事業(百万円)	樹脂事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,738	3,258	9,996		9,996
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	6,738	3,258	9,996		9,996
営業利益	188	12	200		200

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	管材システム 事業(百万円)	樹脂事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,569	6,548	19,117		19,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	12,569	6,548	19,117		19,117
営業利益	370	67	437		437

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、性質、製造方法、販売方法等類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
管材システム事業	プラスチック製バルブ、パイプ、継手、フランジ、ガスケット、汚泥改質機構、電気透析脱塩装置、配管工事等のエンジニアリング、半導体関連機器の治工具洗浄装置等
樹脂事業	フェノール樹脂(鋳物用、発泡用、建材用、電子材料用、一般工業用等)、レジンコーテッドサンド、フェノール樹脂成形材料、ジアリルフタレート樹脂成形材料等

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	中国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,917	1,003	76	9,996		9,996
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	349			349	(349)	
計	9,266	1,003	76	10,345	(349)	9,996
営業利益又は営業損失()	122	90	3	208	(8)	200

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	中国 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,079	1,894	145	19,117		19,117
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	731			731	(731)	
計	17,809	1,894	145	19,848	(731)	19,117
営業利益又は営業損失()	337	117	7	447	(10)	437

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	945	329	1,274
連結売上高(百万円)			9,996
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.4	3.3	12.7

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	1,728	787	2,514
連結売上高(百万円)			19,117
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.0	4.1	13.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・米国、カナダ

(2) その他の地域・・・上記以外の欧州、中南米、アジア等の地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	450.65円	1株当たり純資産額	459.67円

2 1株当たり四半期純損失

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純損失	2.56円	1株当たり四半期純損失	5.90円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純損失の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	250	576
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	250	576
普通株式の期中平均株式数(千株)	97,732	97,729

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第88期(平成20年4月1日より平成21年3月31日まで)中間配当については、平成20年11月11日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	489百万円
1株当り中間配当金	5円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成20年12月8日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

旭有機材工業株式会社
取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 阿部謙一郎
業務執行社員

指定社員 公認会計士 萩森正彦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭有機材工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭有機材工業株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。